

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年12月17日

計画の名称	良好な水循環をめざすまち重点計画													
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	富士市													
計画の目標	・富士市固有の豊かな水資源や清流、中小河川、海などの水環境の復元と保全を図り、この貴重な財産を未来に継承していくために下水道処理人口普及率の向上をめざす。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		3,702	A	3,702	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R2当初)	(R4末)	(R6末)
1	・令和元年度末現況値77.3%の下水道処理人口普及率を5年間で80.9%へ向上。 下水道がどのくらいゆきわたっているかを示す指標で、その地域に住んでいる全体の人口に対する下水道を利用できる人口の割合。 下水道処理人口普及率(%)＝(下水道を利用できる人口)／(その地域に住んでいる全体の人口)			
		77%	79%	81%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		R02	R03	R04	R05	R06													
		一体的に実施することにより期待される効果																	
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	富士市	直接	富士市	管渠（ 污水）	新設	東部処理区管渠整備（未 普及解消）	下水道管A=67ha	富士市	■	■	■	■	■	1,141		－
	A07-002	下水道	一般	富士市	直接	富士市	管渠（ 污水）	新設	西部処理区管渠整備（未 普及解消）	下水道管A=114ha	富士市	■	■	■	■	■	2,561		－
											小計						3,702		
											合計						3,702		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
富士市公共下水道事業の関係部署において、事後評価に係る資料を作成し、評価を実施。	令和7年11月
	公表の方法 富士市ウェブサイトに掲載
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	未整備区域の管路整備を進めたことで下水道処理人口普及率が80.3%となり、公衆衛生が向上された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
今後も引き続き計画的且つ効率的な施設整備を図り、富士市の健全な発展及び公衆衛生の向上に寄与していくことで、良好な水循環を形成するまちの実現をめざしていく。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道処理人口普及率		
	最 終 目標値	81%	管路整備について、アクションプランに基づき、先行投資管の整備を実施している。 先行投資管が整備された箇所については、整備済であるが未供用となるため、処理人口に含まれていないことが要因と考えられる。
	最 終 実績値	80%	

(様式6) 社会資本総合整備計画 (参考図面)

計画の名称	良好な水循環をめざすまち重点計画		
計画の期間	令和2年度 ～ 令和6年度 (5年間)	交付対象	富士市

